

民間金融機関との連携

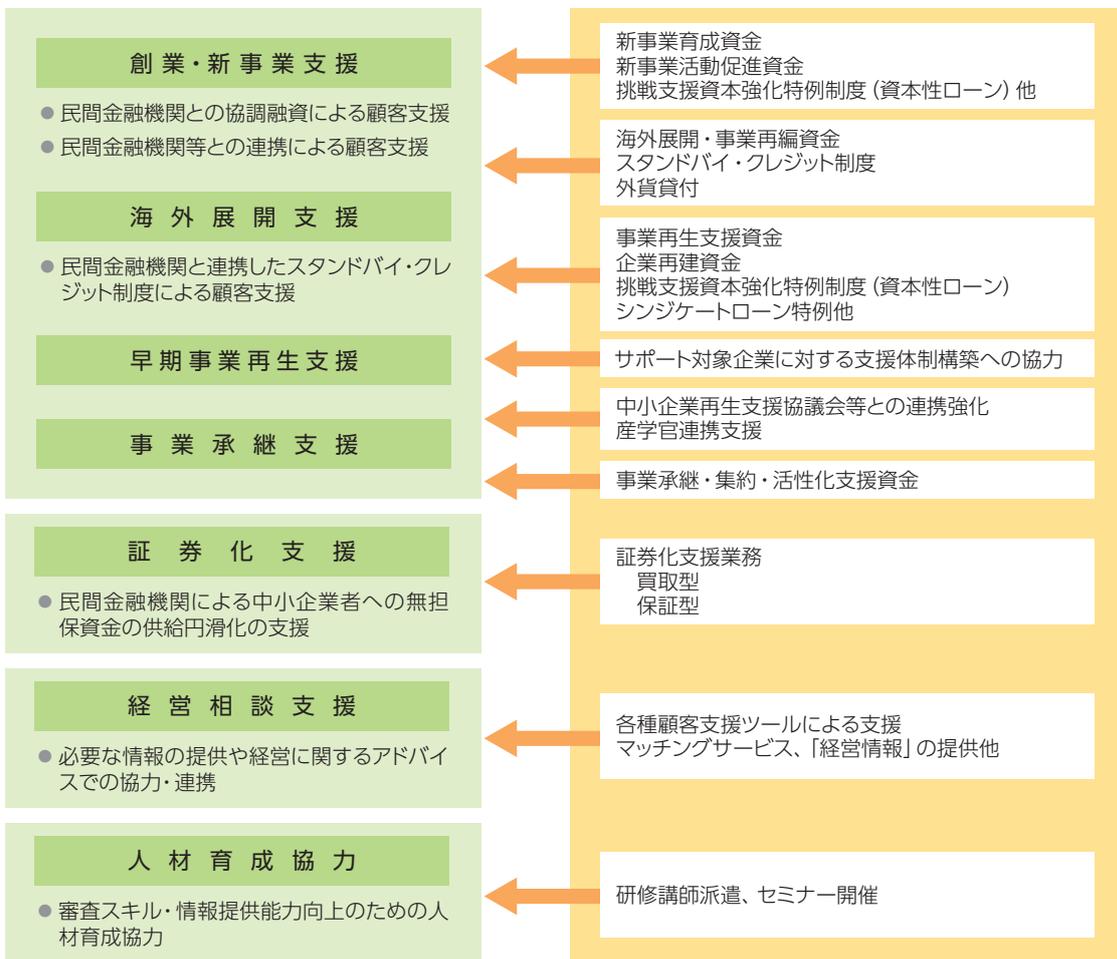
民間金融機関との連携を通じ、中小企業者の皆さまをご支援しています。

民間金融機関と協調融資、証券化支援などで連携

中小企業事業は、融資・証券化支援・信用保険の多様な機能と長年にわたり培った審査力、全国約4.4万先の顧客データベースに基づく情報を活かし、「創業・新事業支援」「海外展開支援」「早期事業再生支援」「事業承継支援」「証券化支援」「経営相談支援」「人材育成協力」の分野で民間金融機関と連携して、中小企業者の皆さまをご支援しています。具体的には、民間金融機関と緊密な情報交換を行い、協調融資での支援、マッチングイベントや海外展開・事業承継セミナーの共催などに取り組んでいます。

特に、平成30年度からは、「新たなステージに向けた民間金融機関連携の取組み」として、民間金融機関との連携に積極的に取り組んでいます。

連携可能な分野と連携の具体的内容



協調融資^(注)の先数・金額実績推移（中小企業事業）



(注) 同一目的の資金計画に対し、日本公庫と民間金融機関が協議を経たうえで、融資（保証）を実行又は決定したもの（公庫で集計したもの。両者の融資実行・決定時期が異なる場合も含む）。

民間金融機関と共にビジネス商談会を開催

三行ビジネス商談会

日本公庫名古屋支店では、東海地区を拠点とする十六銀行、名古屋銀行及び百五銀行との共催により、各機関の取引先企業のビジネスマッチングを行う「三行ビジネス商談会」を開催し、約340社が参加、約550件の商談が実施されました(令和元年度の実績)。

同会では、商談会HPに事前に登録したニーズに対して商談申込みを行う「事前アレンジ商談(買い手企業のニーズを事前登録し、売り手企業が商談を申し込む商談形式)」を採用することで、参加企業の今後の取引拡大に一層繋がる商談機会を提供しています。

公庫は、協調融資だけでなく、このようなビジネスマッチングにおける連携体制の構築など、地元金融機関が取り組む地域密着型金融の一層の推進に積極的に協力し、地域経済の活性化を支援しています。



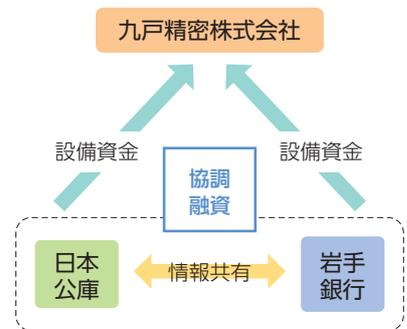
コロナ禍にあっても設備投資に取り組むメーカーを支援

九戸精密株式会社は岩手県九戸郡九戸村に本社を置き、半導体関連メーカーが使用する検査装置に用いられる超微細プローブ等の製造業者です。数μm単位の微細加工を可能とする高い技術力に加え、試作や小ロット品から量産品、全数検査まで対応可能とする柔軟な生産体制を強みとします。

同社主力製品であるスプリングプローブはIC生産に欠かせない部品で、近年データセンター等5Gインフラ向けの供給が伸長してきました。コロナ禍においてもリモートワーク増加などを背景に当分野のさらなる需要拡大が見込まれる中、スプリングプローブを安定した品質で大量生産できる会社は国内でも2、3社に限られており、今般、事業拡大のため生産設備の増強を計画しました。

同社では付加価値向上に向けた取組みの一環として、「中小企業等経営強化法」に基づき東北経済産業局から「経営力向上計画」の認定を受けており、今回も同計画に沿って自動旋盤加工機の導入を決定。

日本公庫では、経営力向上計画に基づく設備投資が加工精度の向上や生産リードタイムの短縮など生産性向上に繋がると判断し、地域企業の発展を支援する岩手銀行と協調して、新事業活動促進資金(経営強化関連)による協調融資を実行しました。

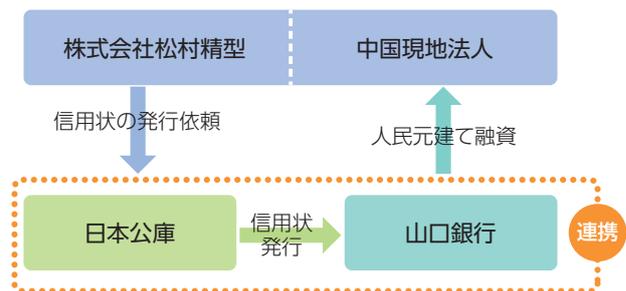


中国現地法人の受注拡大に必要な資金調達をSBLC制度で支援

株式会社松村精型は、日系大手自動車メーカー向けの金型部品及び変速機部品製造会社です。同社の中国現地法人(大連市所在)は平成15年に設立され、日系企業の高い品質要求に対応可能な技術力を有することや、機密管理が難しい中国において設計データ管理が徹底されていること等が評価され、日系大手自動車メーカーを主力取引先に業容を拡大してきました。

かかる中、中小企業等経営強化法に基づく経営力向上計画の承認を中部経済産業局から受け、海外現地法人と一体になって経営力向上に取り組むとともに、中国現地法人において、受注拡大に対応するための運転資金が必要となり、現地流通通貨建ての資金調達を計画しました。

中小企業事業は、同社から資金調達の相談を受け、山口銀行の本店と連携し、スタンバイ・クレジット制度を活用して同行の大連支店に対し信用状を発行。中国現地法人の人民元建て資金調達を支援しました。

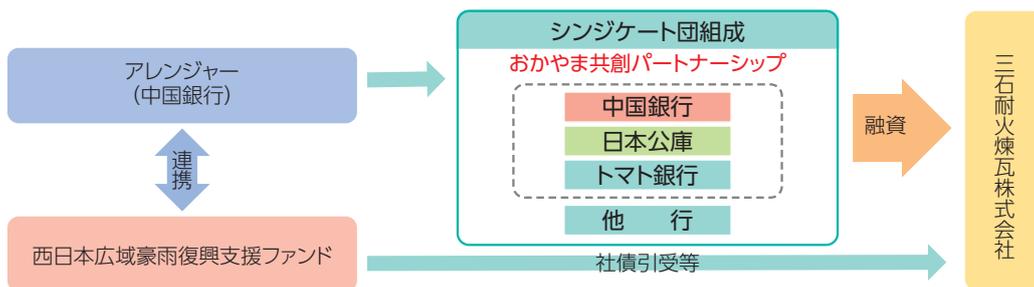


新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者支援のためメイン行主導のシンジケートローンに参加

三石耐火煉瓦株式会社は、耐久性の高い高品質な各種耐火物等を得意としている耐火物・各種セラミックス製造販売業者で、創業128年の老舗企業です。近年では、新しい素材として放射線を効率的に遮蔽するセラミックス (RASHIX®) を開発し、原子力防災関連施設はもとより、放射線治療を実施する高度先進医療施設等に採用されています。

かかる中、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響が同社にも及び、経営環境悪化に対応するために必要となる金融支援について、メイン行である中国銀行が主幹事となり、シンジケート方式によるタームローン契約5.8億円を組成することとなりました。なお、今回の取組みは、REVICキャピタル(株)が、ロングブラックパートナーズ(株)と共同で運営する「西日本広域豪雨復興支援ファンド」と協調したものです。

主幹事の中国銀行と参加機関の日本公庫及びトマト銀行は、地方創生をはじめとした地域の発展に向けた連携・協力を強化するため、令和元年10月に地方創生に関する連携協定書(おかやま共創パートナーシップ)を締結しています。今般、中国銀行からシンジケートローンへの参加の打診を受けた日本公庫は、中国銀行と綿密に情報交換を行い、シンジケートローンへの参加による協調支援を実施しました。



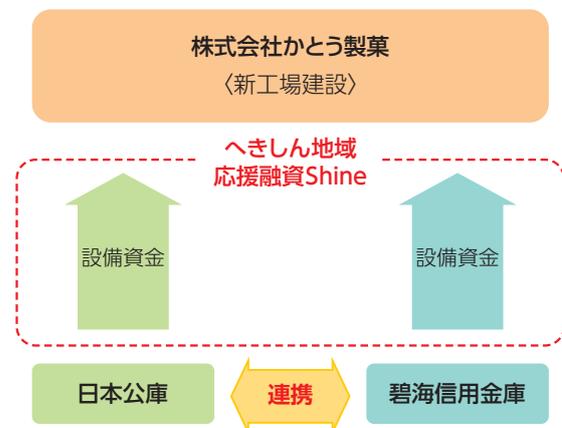
民間金融機関との協調融資商品を活用して新工場建設を支援

株式会社かとう製菓(愛知県西尾市)は、主にえびせんべい、ポテトスナック等を手掛ける菓子製造会社です。独自の製造ノウハウを有し、味・形状・模様など様々なニーズに対応できることを強みに土産物等を中心に全国のお菓子販売店に600種類以上のコラボ商品を納入しています。

かかる中、平成28年から生産を開始したポテトスナックの受注が増加していたことに加え、BCPの観点から生産拠点分散等を目的に、新たに三重工場(亀山市)を建設し生産能力拡充を図ることを計画しました。

岡崎支店中小企業事業は碧海信用金庫と連携のうえ、協調融資商品「へきしん地域応援融資Shine(シャイン)」^(注)を適用し、新工場建設資金について協調融資を実施しました。

(注)平成30年6月に創業支援、経営革新推進等を目的に碧海信用金庫と覚書を締結しました。当協調融資商品は覚書に基づく業務連携事項として、両行で円滑に顧客支援を行うために創設したものです。



資本性ローンを活用した民間金融機関との協調融資により資金繰り・財務体質強化を支援

中小企業事業は、資本性ローン(「挑戦支援資本強化特例制度」)を活用し、民間金融機関と連携して協調融資を行うなど、新規事業や企業再建等に取り組む中小企業者の資金繰りと財務体質強化の支援を推進しています。本特例による債務については、金融検査上自己資本とみなすことができます。

挑戦支援資本強化特例制度(資本性ローン)の融資実績推移

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
融資先数	760先	666先	620先
金額	551億円	468億円	506億円